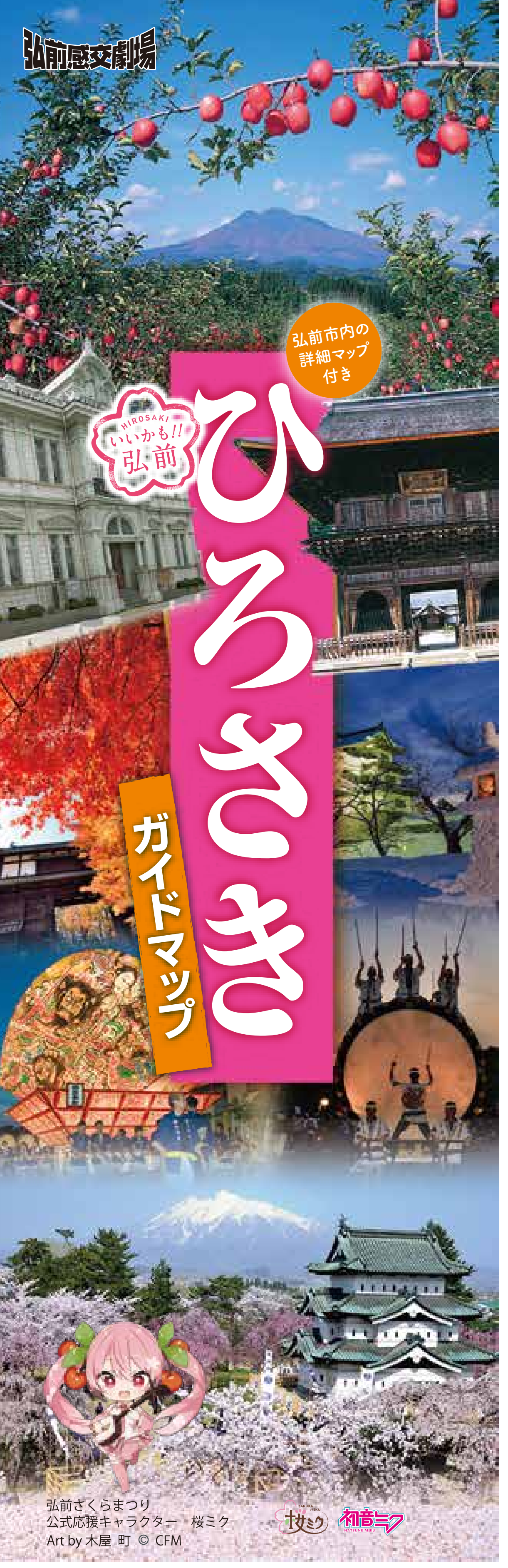


ひろさき ガイドマップ

弘前さくらまつり
公式応援キャラクター　桜ミク
Art by 木屋 町 © CFM

歴史の街を歩く ― 神社・仏閣

歴史の街を歩く――神社・仏閣

城下町弘前は、お城を囲むように神社や仏閣が建てられています。古都弘前をゆっくり歩いてみませんか。

最勝院五重塔　Aオ−4

（国指定重要文化財）

津軽統一の際、戦死したすべての人々を敵味方の区別なく供養するため、建造したといわれています。塔の総高は31.2mで、東北一の美塔と讃えられており、五重塔の少ない東北地方としては極めて大切な遺構です。

●見学時間／9:00〜16:30（季節により変更あり）●休館日／なし
●拝観料／無料（さくらまつり・ねぷたまつり期間は大人500円、小中学生300円）
●弘前市銅屋町63
TEL0172-34-1123

長勝寺（国指定重要文化財／本堂・三門はじめ9棟・1口）　Aエ−2

津軽家の菩提寺（ぼだいじ）で当初鰺ヶ沢に建立されましたが、弘前城築城と同時に南西の守りとして現在地へ移転。三門、梵鐘（ぼんしょう）、霊廟（れいびょう）、五百羅漢、本堂など一見の価値ありです。

●見学期間／4月〜11月（冬季は要問合せ）●見学時間／9:00〜16:00 ●休館日／なし ●外観見学無料（予約不要）●案内付き拝観料300円（10名より催行、4月下旬〜11月、①9:00〜16:00のうち、約40分）●申込方法／7日前までに申込（(公社)弘前観光コンベンション協会 TEL0172-35-3131）●弘前市西茂森1-23-8　TEL0172-32-0813

坐禅体験（有料）　Aエ−3

城下町弘前で、静寂のなか、心を清め、無我の境地に導かれてみませんか。

●場所／禅林街内寺院（選択不可）
●申込方法／7日前までに申込
※10名以上より申込可能（完全予約制）
TEL0172-35-3131
((公社)弘前観光コンベンション協会)

革秀寺　Aイ−3

（国指定重要文化財／本堂、霊屋）

弘前藩初代藩主 津軽為信（ためのぶ）の菩提寺（ぼだいじ）です。霊屋は漆を多用した絢爛豪華な建物です。

●見学時間／9:00〜17:00（霊屋見学は要予約、日中のみ）●休館日／なし（為信霊屋は雨天時・冬季閉館）●拝観料／中学生以上150円、団体10名以上100円、小学生以下無料 ●弘前市藤代1-4-1　TEL0172-32-7460

誓願寺　Aイ−4

（国指定重要文化財／山門）

弘前城築城の際、城の西の守りとして約400年前に現在地へ移転。江戸中期頃に建てられた山門（鶴亀門）は、こけら葺き重層四脚門という珍しい構造。

●見学時間／9:00〜16:00（4月〜11月）9:00〜15:00（12月〜3月）
●休館日／なし ●拝観料／無料
●弘前市新町247
TEL0172-34-5532

袋宮寺　十一面観世音立像　Aオ−4

（県重宝）

袋宮寺にまつられている、この立像は、像高595cmで県下最大級の木造仏。「背高観音様」の異名があり、漆と金箔が施されている。

●見学時間／8:00〜17:00 ●休館日／なし
●拝観料／無料 ●弘前市新寺町26
●TEL0172-33-1382（管理者は報恩寺）

栄螺堂（さざえどう）（市指定有形文化財）　Aエ−3

天保10年（1839）、弘前の豪商中田嘉兵衛が寄進。八角形の内部は、右回りの回廊と直進階段を併用して昇降。東北では2つだけという貴重な建物です。

※内部拝観を希望される場合は蘭庭院へ事前予約が必要です。
●休館日／11月中旬〜4月中旬
●TEL0172-32-6556（蘭庭院）

石場家（国指定重要文化財）　Aウ−5

江戸時代中期の建築と推測される石場家は、藩政時代ワラ工品を扱っていた豪商で、現在は酒屋さん。江戸時代のアーケード「コミセ」が残ります。

●見学時間／9:00〜17:00
●休館日／不定休 ●入場料／中学生以上100円、小学生以下無料
●弘前市亀甲町88
TEL0172-32-1488

弘前八幡宮　Aイ−7

（国指定重要文化財／唐門、本殿ほか）

はじめは岩木地区にありましたが、弘前城築城後、鬼門の守りとして現在地に移転されました。随所に桃山文化の色を残した建物です。

●見学時間／9:00〜16:30
●休館日／社務所月1回（不定期）
●拝観料／無料
●弘前市八幡町1-1-1
TEL0172-32-8719

熊野奥照神社　Aウ−7

（国指定重要文化財／本殿）

坂上田村麻呂が蝦夷征伐の際、祈願した神社と伝えられ、現在の本殿は約400年前に2代藩主 津軽信枚（のぶひら）が再建。端正、簡素で慶長期の時代を示す建物です。

●見学時間／9:00〜17:00
●休館日／なし ●拝観料／無料
●弘前市田町4-1-1
TEL0172-32-7663

川﨑染工場　Aウ−5

4代藩主 津軽信政（のぶまさ）の時代に始まった津軽天然藍染。現在、弘前で唯一、天然の藍染が行われている川﨑染工場では、当時の藍かめを使い、ハンカチやスカーフなど気軽に染物体験ができます。

●営業時間／9:00〜17:00（冬季は9:00〜16:00）●定休日／木曜日
●染物体験／1,000円〜（予約制）●弘前市亀甲町63
TEL0172-35-6552 ※工場見学は有料（大人200円、小中高生100円）

歴史の街を歩く ― 神社・仏閣

浪漫の街を歩く ― 洋館

浪漫の街を歩く――洋館

文明開化の波に乗り、独特の洋館がつくられた弘前。とんがり屋根の洋館や煉瓦造の教会など、ノスタルジックな街を歩いてみましょう。

🍴は、飲食施設があります。

旧弘前市立図書館　Aエ−4

（県重宝）

弘前藩おかかえの棟梁の家に生まれ、洋風建築の技術を函館で学び、明治期の津軽地方において数多くの洋風建築を手掛けた堀江佐吉。その堀江佐吉が設計施工したルネッサンス様式の建物です。左右にある八角形のドーム型双塔、石積基礎など洋風技法水準の高さを感じさせます。かつては下宿屋や喫茶店としても使われていました。

●見学時間／9:00〜17:00
●休館日／年末年始 ●入館料／無料
●弘前市下白銀町2-1所在地／追手門広場
TEL0172-37-5501（弘前市立観光館）
管轄・お問合せ／弘前市文化財課
TEL0172-82-1642

旧東奥義塾外人教師館　Aエ−4　🍴

（県重宝）

青森県初の私学校 東奥義塾の外国人宣教師が住んだ家です。1階にある喫茶室では、窓からミニチュア建造物を眺めながら、コーヒーやランチが楽しめます。

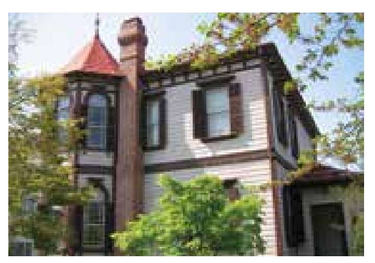
●見学時間／9:00〜18:00
●休館日／年末年始（ただし臨時開館の場合あり）
●入館料／無料
●弘前市下白銀町2-1
TEL0172-37-5501（弘前市立観光館）

藤田記念庭園　Aエ−4　🍴

（国登録有形文化財／洋館、和館ほか）

弘前市出身で日本商工会議所初代会頭の藤田謙一氏が大正10年（1921）に建てた別邸です。総面積は約2万1800㎡で、その広大な敷地の高台は、岩木山を眺望できる借景式庭園、低地部は花菖蒲が美しい池泉廻遊式庭園になっています。クラフトに触れながら食を楽しむ和をテーマとした「クラフト&和カフェ匠館」が併設。

●見学時間／4月上旬〜11月23日（洋館カフェは通年営業）●見学時間／9:00〜17:00、毎月第4土曜日9:00〜20:00●期間中無休●入館料／大人320円、小中学生100円、団体割引あり●弘前市上白銀町8-1　TEL0172-37-5525 ※6月最終日曜日は無料 ※冬季開館日についてはお問合せください。



弘前学院外人宣教師館　Aキ−4

（国指定重要文化財）

弘前女子教育の先駆けとして設立された当時の弘前女学校が、米国から呼び寄せた婦人宣教師の宿舎として建設しました。八角形の張り出しや、とんがり屋根が特徴的な和洋折衷の建物で、女性を意識した建物になっています。

●見学時間／9:00〜16:00（土曜日は12:00まで）●休館日／月曜、日曜、祝日、6月25日、8月13日、年末年始 ●入館日／無料 ●弘前市稔町13-1　TEL0172-38-6111

旧第八師団長官舎（弘前市長公舎）　Aエ−4　🍴

（国登録有形文化財）

大正6（1917）年、第八師団長官舎として建てられました。戦後はアメリカ軍の進駐部隊司令官宿舎として使用されました。ヨーロッパで発展したハーフティンバー風の洋風建築で、現在は、外観はそのままに、カフェとなっています。

●弘前市上白銀町1-1

旧第五十九銀行本店本館（青森銀行記念館）　Aエ−5

（国指定重要文化財）

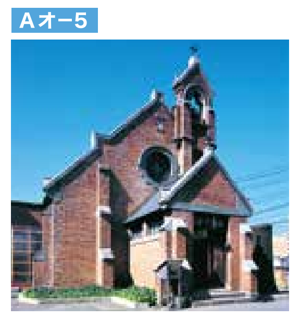
青森県初の銀行第五十九銀行の本店として、堀江佐吉が設計施工した、ルネッサンス風 和洋折衷の建物です。天井に使われている「金唐革紙」は全国的にも貴重。銀行ゆえの防火窓や、県産ケヤキでつくったカウンターなど見ごたえ十分です。

●見学時間／9:30〜16:30（さくら・ねぷた・雪燈籠まつり期間は18:00まで延長）●休館日／火曜日（四大まつり期間を除く）、12月29日〜1月3日 ●入館料／大人200円、小・中学校100円、団体割引あり ●弘前市元長町26　TEL0172-36-6350

旧弘前偕行社（国指定重要文化財）　Aカ−5

旧弘前偕行社は、陸軍第八師団の厚生施設として建てた、堀江佐吉設計最後の建築物。玄関ポーチペディメントには、第八師団の「八」をもじった「蜂」の鉄製飾りがあります。現在は、弘前厚生学院の現校舎として活用されています。

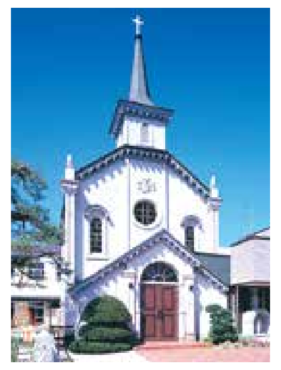
●見学時間／9:00〜16:00 ●休館日／火曜日、お盆時期、年末年始 ●見学料／300円（ガイド有は見学料／500円※3日前までの要予約）●弘前市御幸町8-10　TEL0172-33-0588
※学校行事など、館内の使用状況により見学できないこともあります。（公式 HP を参照）※入館における靴の制限／床材の保護のため、底部に金属加工がされている靴、かかとが細く尖った靴での入館はご遠慮願います。



日本聖公会 弘前昇天教会（県重宝）　Aオ−5

大正時代に建てられたゴシック様式赤煉瓦づくりの聖堂は、J・M・ガーディナー設計といわれています。アメリカで120年前につくられたという日本で唯一のリードオルガンは、今も現役で使われています。

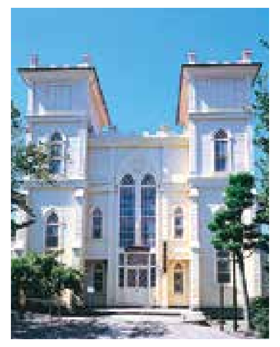
●外観見学自由、ほか要問合せ
●弘前市山道町7
TEL0172-82-1642（弘前市文化財課）



カトリック弘前教会　Aエ−5

名匠 堀江佐吉の弟 横山常吉が、明治末期に建設したロマネスク様式の木造建築です。慶応2年（1866）に製作されたというゴシック様式の祭壇は、オランダの聖トマス教会から譲り受けたもの。カナダのカロン神父から贈られたステンドグラスには、岩木山、りんご、津軽三味線など弘前がまるごと描かれ、とても綺麗です。

●見学時間／8:00〜18:00（夏季）8:00〜日没（冬季）●休館日／結婚式・葬式時、日曜日の午前中
●入館料／無料●弘前市百石町小路20
TEL0172-33-0175



日本キリスト教団 弘前教会　Aエ−5

（県重宝）

明治8年（1875）に創立された、東北最古のプロテスタントの教会。クリスチャン棟梁 桜庭駒五郎が設計し、堀江佐吉の四男 斎藤伊三郎が建設しました。外観はフランスゴシック風の双塔が印象的で、内部は白漆喰が美しい。

●見学時間／10:00〜12:00
●休館日／月曜、水曜、土曜、日曜日
　　職員不在時
●入館料／無料
●弘前市元寺町48　TEL0172-32-3971

浪漫の街を歩く ― 洋館

弘前おすすめ観光情報

弘前おすすめ観光情報

日本一の桜、ねぷた、津軽三味線、たわわに実ったりんご…。弘前を旅したら、ぜひとも訪れて欲しいスポットを紹介します。

🍴は、飲食施設があります。　🎁は、お土産品を販売しています。

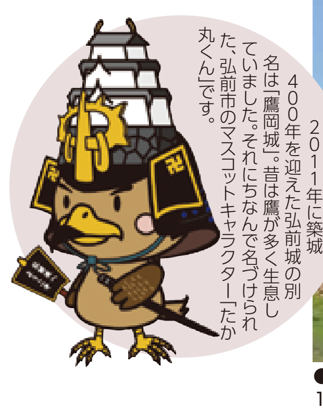
気ままに散歩。見どころ満載。
充実の弘前時間。

まちを歩こう！

レッツ ひろさき まちあるき

個性豊かなガイドと一緒に歩く街歩きツアーが満載!歴史や伝統文化、自然などの見どころやおすすめスポットを聞きながら、弘前の雰囲気を体感できます。時間や目的などに応じて利用してみては。コースにより参加料、申込締切日、催行内容等が異なりますので、詳しくはお問合せください。

●ホームページ／URL：http://machi-aruki.sakura.ne.jp/
津軽まちあるき で検索　※上記サイトから予約もできます。
●お問合せ／津軽まちあるき観光推進実行委員会
((公社)弘前観光コンベンション協会内) TEL0172-35-3131



2011年に築城400年を迎えた弘前城の別名は「鷹岡城」。昔は鷹が多く生息していました。それにちなんで名づけられた、弘前市のマスコットキャラクター「たか丸くん」です。

弘前公園　Aウ−4

（国指定史跡／国指定重要文化財 天守ほか）

津軽統一を果たした弘前藩初代藩主 津軽為信（ためのぶ）が慶長8年（1603）に計画、2代信枚（のぶひら）が慶長16年（1611）に完成させた津軽氏の居城です。広さ約49.2ha、東京ドーム10個分以上の敷地は、三重の濠と土塁に囲まれ、6つの郭で構成されています。現在の天守は文化7年（1810）に再建されたものです。

「天守は石垣工事のため、平成27年10月に本丸の内側へと曳家（ひきや）され、元の位置に戻るのは令和8年（2026）以降の予定です。」

本丸・北の郭・弘前城植物園は有料エリアです

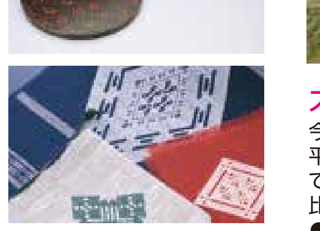
●有料時間／9:00〜17:00（4月23日〜5月5日は7:00〜21:00まで）●有料期間／4月1日〜11月23日●入場料／320円、小・中学生100円、団体割引あり●共通入場券（弘前城、弘前城植物園、藤田記念庭園）／520円、小・中学生160円、団体割引あり ※5月最終日曜日は無料開放●通年券／1,040円、小・中学生310円（さくらまつり期間も使用可能）

津軽三味線

津軽三味線は、「ボサマ」と呼ばれる盲目の門づけ芸人が、津軽の各地をまわり、家の前で三味線を弾いて、唄を歌い、お金や食べ物を貰う門づけから生まれました。明治に入ると民謡の伴奏となり、やがては単独楽器として独自の世界を確立しました。その哀調を帯びた激しさは、聴く人の心に響く魂の音色です。

津軽塗（国指定重要無形文化財）

津軽地方は古くから良質の漆の産地。津軽塗の代表である唐塗は、その工程で48回にわたる漆の塗りと研ぎ出しが行われます。高尚な光沢と文様、堅牢な品質と優雅な色彩は、漆器の代表的なものです。



こぎん刺し

津軽のこぎん刺しは、長い雪国の生活の中で育まれた女性の手仕事です。ぜいたくを許されない農家が野良着の麻布に木綿糸で刺して防寒する「刺しこ」から発展し、幾何学的な模様が特徴です。

ブナコ

ブナ材の美しい質感と芯の強さを生かした工芸品です。デザインの優秀性・品質・安全性が認められ、経済産業省選定のグッドデザイン商品に認定されています。ランプや器も人気です。

貝焼き味噌
けの汁
いがめんち

津軽の郷土料理

北国の風土に育まれ、津軽の家々で古くから受け継がれてきた郷土料理。野趣あふれる季節の郷土料理を味わってみませんか。

津軽の弁当 "津軽弁"

「津軽弁」とは津軽地方で昔から受け継がれてきた郷土料理や津軽に住む人が普段食べている家庭料理、創作料理など地元の食材を使用した、津軽の味力がぎっしり詰まった弁当のことです。

●主な販売所／弘前駅2階東西自由通路
※のぼりと赤いハッピが目印です。
●お問合せ先／津軽振興会（弘前駅津軽弁販売所）
TEL070-5326-7771

弘前城情報館

館内では、タッチパネル方式のデジタルスクリーンで「城と城下マップ」「津軽氏居城の歴史」「弘前城の築城」「弘前城の変遷」「弘前城ニュース」を、日本語と英語で紹介しています。休憩所エリアの壁面には園内の桜などの映像、特殊フィルムを張った東面と西面の窓ガラスには馬事訓練と大名行列のCG映像などをそれぞれ投影しています。

●見学時間／9:00〜17:00（さくらまつり期間は9:00〜21:00）●休館日／なし ●入館料／無料
TEL0172-26-5965

堀越城跡（国指定史跡／市指定有形文化財・旧石戸谷家住宅）

堀越城は、弘前藩初代藩主津軽為信（ためのぶ）が津軽統治の拠点として弘前城へ本拠を移転するまでの間、津軽の中心として栄えました。平成10年（1998）に発掘調査が始まり、整備工事を経て、令和2年（2020）に全面公開しました。

●堀越城跡ガイダンス施設（旧石戸谷家住宅）開館時間／9:00〜16:00（11月下旬〜4月上旬は閉館）●開館期間／堀越城内　通年開放（冬季除雪なし）●料金／無料 ●弘前市大字川合字岡本160-1
TEL0172-26-2950（冬季は市文化財課0172-82-1642）

スマートグラスガイドツアー

今、話題のスマートグラスを使って、弘前城の満開の桜や平成27年（2015）に曳屋工事でお城が動いた様子を見てみませんか?目の前の風景と360°パノラマ映像を見比べながらの散策は必見です。

●日時／通年10:30〜11:40、14:00〜15:10●料金／お一人様1,500円（税込）※弘前城天守、弘前城植物園、藤田記念庭園の3施設共通入園券を含む●定員／1〜20名まで●コース／藤田記念庭園→追手門→下乗橋→弘前城本丸→北の郭・武徳殿●予約／実施日の前日まで●対象年齢／中学生以上●お問合せ／藤田記念庭園事務所　TEL0172-37-5525

弘前れんが倉庫美術館　Aオ−5　🍴🎁

弘前れんが倉庫美術館は、明治・大正期に酒造工場として建設された吉野町煉瓦倉庫を改修し、令和2年（2020）にオープンした美術館です。国内外の先進的なアートを紹介するとともに、弘前そして東北地域の歴史、文化と向き合う同時代の作品を収集し、展示します。

●営業時間／9:00〜17:00 ●定休日／火曜日（祝日の場合は翌日に振替）、年末年始 ●観覧料／展覧会により観覧料が異なります。●弘前市吉野町2-1　TEL0172-32-8950

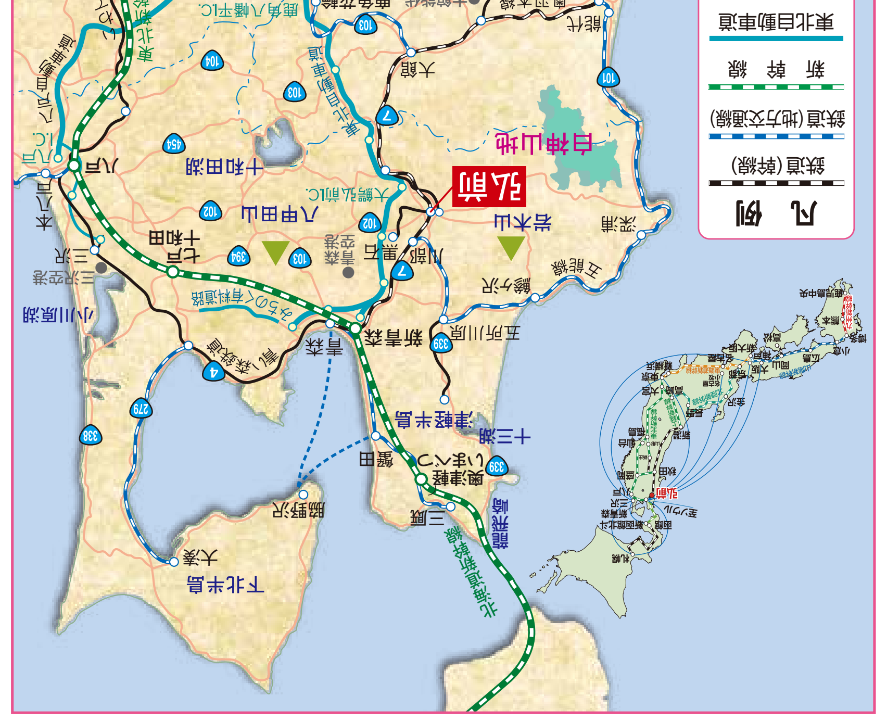
津軽藩ねぷた村　Aウ−5　🍴🎁

弘前の夏の夜を彩る重要無形民俗文化財 弘前ねぷたまつりをはじめ、津軽の民工芸品、津軽三味線の生演奏、大石武学流庭園など、津軽をまるごと見て、体験できる施設です。

●営業時間／9:00〜17:00 ●定休日／なし ●入館料／600円、高・中学生400円、小学生300円、幼児（3才以上）100円、団体割引あり
●弘前市亀甲町61　TEL0172-39-1511　http://www.neputamura.com/

弘前おすすめ観光情報

世界自然遺産白神山地の玄関口



弘前市への交通アクセス

地域情報はこちら　FM APPLE WAVE 78.8MHz

飛行機
羽田空港 → 1時間15分〜20分 → 青森空港 → バス 55分 → 弘前
神戸空港 → 1時間50分〜2時間 → 青森空港
大阪（伊丹）空港 → 1時間40分〜50分 → 青森空港
名古屋（小牧）空港 → 1時間20分〜25分 → 青森空港
札幌（千歳）空港 → 45分〜50分 → 青森空港
ソウル（仁川）空港 → 2時間20分〜35分 → 青森空港

新幹線
東京 → はやぶさ 2時間59分 → 新青森 → 特急つがる 30分 → 弘前
新大阪 → のぞみ 2時間30分 → 東京 → はやぶさ 2時間59分 → 新青森
新函館北斗 → はやぶさ 49分 → 奥津軽今別 → はやぶさ 15分 → 新青森

JR奥羽本線
青森 → 特急 30分 → 弘前
秋田 → 特急 2時間 → 弘前

高速バス
東京（新宿） → ニューノクターン号 8時間50分 → 弘前
横浜 → ニューノクターン号 9時間50分 → 弘前
仙台 → キャッスル号 4時間20分 → 弘前
盛岡 → ヨーデル号 2時間15分 → 弘前

東北自動車道（各インターから弘前までの距離）
浦和I.C. 653.7km → 仙台I.C. 321.3km → 盛岡I.C. 141.6km → 大鰐・弘前I.C. 10km → 20分 → 弘前
青森I.C. 37.9km → 浪岡I.C. 26km → 黒石I.C. 12km → 弘前

国道7号
青森 → 40km 1時間 → 弘前
秋田 → 165km 3時間30分 → 弘前

弘南鉄道
黒石 → 弘南線 30分 → 弘前
大鰐 → 大鰐線 30分 → 弘前

弘前市立観光館

弘前市と周辺地域の観光拠点として、さまざまな情報を提供しています。弘前ねぷたが展示された1階には、観光案内カウンターや観光パンフレットコーナー・お土産コーナー・レストランなど、2階には津軽塗をはじめ民工芸品の展示コーナーがあります。

●見学時間／9:00〜18:00（まつり期間は延長の場合あり）●休館日／年末年始（ただし臨時開館の場合あり）●入館料／無料 ●弘前市下白銀町2-1　TEL0172-37-5501　Aエ−4

新型コロナ感染予防対策のため、掲載内容には変更が生じる場合があります。
詳細は各施設にご確認の上、お出掛けください。

《各お問合せ先》
■弘前市立観光館　0172-37-5501
■弘前市観光案内所（JR弘前駅内）　0172-26-3600
■岩木山観光協会　0172-83-3000
■（公社）弘前市物産協会　0172-33-6963
■弘前市旅館ホテル組合　0172-34-2657
■百沢温泉旅館組合（温泉旅館中野）　0172-83-2345
■嶽温泉旅館組合（小島旅館）　0172-83-2130
弘前市観光情報サイト

2023.4月現在（内容にはやむを得ず変更が生じる場合があります）

世界自然遺産 白神山地と弘前りんご情報

世界自然遺産 白神山地

世界最大級の原生的なブナ林が広がる白神山地。自然の生態系がそのまま保たれている白神山地とその周辺を散策してみましょう。

🍴は、飲食施設があります。　🎁は、お土産品を販売しています。

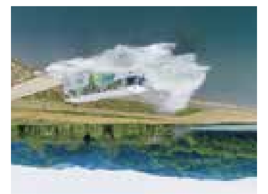
世界自然遺産 白神山地

世界最大級の原生的なブナ林が広がる白神山地は、青森県南西部と秋田県北西部にかけて、約13万haにわたる美しい山々の総称です。平成5年（1993）12月、このうち最も原生的な1万6971haが、日本初の世界自然遺産に登録され、令和5年（2023）12月で30周年を迎えます。高緯度にもかかわらず多種多様な動植物が生息するなど、極めて価値の高い自然の生態系が、ありのままの姿で保たれています。

白神山地ビジターセンター

白神山地の自然や生態系が学べる展示館。「映像体験ホール」では巨大スクリーンで白神の四季を紹介しています。

●開館時間／8:30〜17:00（4月〜10月）、9:00〜16:30（11月〜3月）
●休館日／要問合せ
●料金／無料（映像観覧料は大人200円、小人（中学生以下）100円
●西目屋村大字田代字神田61-1
TEL0172-85-2810



水陸両用バス

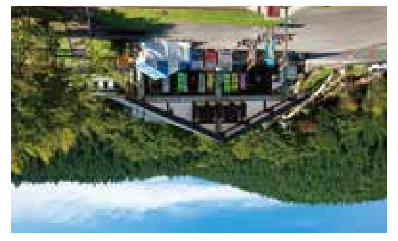
バスガイドさんの津軽弁と大きな窓から吹き抜ける風を受け、津軽白神湖へスプラッシュイン!

●期間／4月下旬〜10月末 水曜休
●お問合せ／津軽白神ツアー
TEL 0172-85-3315
料金／中学生以上　2,500円
　　3歳〜小学生1,500円
　　2歳以下　　　500円

暗門の滝

白神山地を代表する名勝のひとつ。落差26m、37m、42mの3段にわたる澄んだ滝は壮観です。上級者コースのため、山歩き初級者には、ガイド同伴をお勧めします。

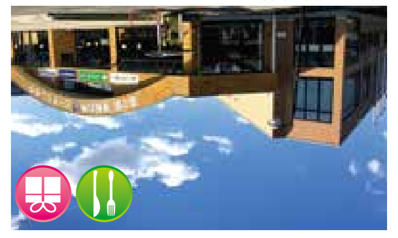
※暗門渓谷ルート内に入るときはヘルメットの着用をお願いします。（レンタル100円）



アクアグリーンビレッジ ANMON

白神山地散策の拠点になる施設。総合案内所・コテージ・キャンプ場サイト・遊具施設・釣り堀などがあり、白神の自然を味わうことができます。

●期間／4月下旬〜11月上旬●時間／9:00〜16:00●西目屋村川原平字大川添417　TEL0172-85-3021（冬季問合せ先／グリーンパークもりのいずみ0172-85-3113）
※コテージ・キャンプサイトは8月〜10月の土・日営業

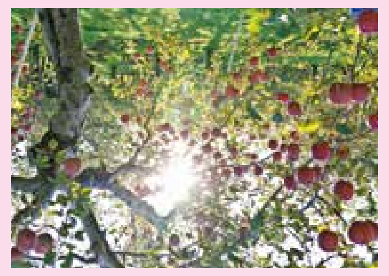


道の駅 津軽白神 物産センター ビーチにしめや　🍴🎁

旬の野菜などの特産品や、オリジナルアイスの販売、白神そば粉を使った蕎麦や、ダムカレーが人気のレストランがあります。

●営業時間／直売所4/23〜11/30・9:00〜17:00、12/1〜4/21・9:00〜16:00／レストラン11:00〜14:00
●西目屋村田代神田219-1　TEL0172-85-2855

弘前 りんご情報



生産量日本一のりんご

弘前市のりんご収穫量は、年間約17万tで日本一を誇っています。昼夜の寒暖差が大きいことから、実の引き締まった糖度の高いりんごが収穫できます。

弘前市りんご公園　Aオ−1　🍴🎁

9.7haの敷地に約80種、2300本のりんごが植えられています。季節ごとにもぎとりなどの作業体験ができるほか、1200点ものりんごグッズを揃えたショップ、展望台などがあり、りんごにふれて、学んで、遊ぶことができます。また、りんごカレーやりんごラーメン等のりんごにこだわった食事を楽しむことができます。

●見学時間／9:00〜17:00
●弘前市清水富田字寺沢125
TEL0172-36-7439

弘前シードル

シュワッと爽やかなりんごのお酒、シードル。国産シードル発祥の地である弘前には、生食用のりんごや摘果したりんごを使ったもの、単一品種のものや数種類をブレンドしたものなど、個性的で多彩なシードルが揃っています。

アップルロードを通ってみよう!

りんご園の中を走る、弘前市石川の県道260号線石川－百田線と、百沢の県道30号、県道3号を結ぶ延長22Kmの道の愛称がアップルロード。5月には淡いピンクの花を咲かせ、秋には真っ赤な実をつける津軽の景色を間近で見られるドライブコースです。

りんごの街のアップルパイ

弘前りんごをふんだんに使ったアップルパイは、市内の洋菓子店等で販売されています。
アップルパイガイドマップ片手に、市内のアップルパイを食べ比べしてみては。

Hirosaki Apple Pie Guide Map

りんご、りんごジュース

天然の恵みをたっぷり受けた弘前りんごは、おいしいだけでなく、整腸やストレス解消、美容に効果があります。

世界自然遺産 白神山地と弘前りんご情報

津軽の秀峰 岩木山

津軽の秀峰 岩木山

古代から津軽の象徴として崇められてきた、青森県の最高峰 岩木山。人々を優しく包むお山を訪ね、津軽の心にふれてみませんか。

岩木山　Bイ−3

岩木山は、標高1625mの二重式火山です。山頂が三峰に分かれ、巌鬼山と鳥海山は外輪山の一部で、鐘状の中央火山丘が岩木山。その形は見る方向によって異なり、自分たちの住む方角から見た山が一番というお国自慢が存在します。

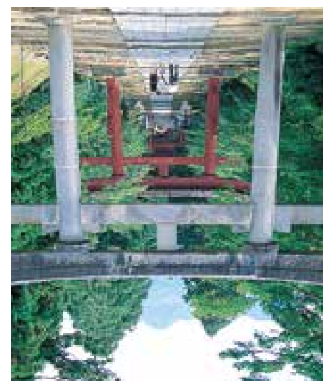
津軽岩木スカイライン　Bイ−2

岩木山を8合目まで車で登れる全長9.8kmの有料道路です。ブナの原生林を縫うように69ものカーブを走り、約30分でターミナルに到着。天気がよければ、北海道や白神山地、西海岸などの大パノラマが楽しめます。

※冬期間（11月中旬〜4月下旬頃）は閉鎖●弘前市常盤野字黒森56-2　TEL0172-83-2314

お山参詣（国指定重要無形民俗文化財）

「サイギ、サイギ」の掛け声を響かせ、毎年旧暦8月1日、岩木山に集団登拝して御来光を拝みます。五穀豊穣を祈願する津軽最大の秋まつりで、御神体である岩木山と一体となり自己の浄化を目指します。御幣（ごへい）を手に弘前市岩木庁舎から岩木山神社まで気軽に参加できる「レッツウォークお山参詣」も人気です。



岩木山神社　Bエ−3

（国指定重要文化財／本殿、拝殿、奥門、楼門ほか）

宝亀11年（780）岩木山の山頂に社殿を造営したのが起源とされる岩木山神社。藩政時代には津軽氏に厚い信仰を受け、現在の社殿は江戸時代初期の再建。

●弘前市百沢字寺沢27
TEL0172-83-2135
●休館日／なし ●拝観料／無料
●見学時間／夏季8:00〜17:00、
　　　　冬季8:30〜16:00

岩木山8合目夕方　Bイ−2

岩木山8合目から望む日本海に沈む夕陽は格別。通常17時でスカイラインは閉門しますが、特別期間は夕陽の沈む時間に合わせ閉門を延長しています。

●特別期間／7月中旬〜9月下旬
●場所／津軽岩木スカイライン
●料金／通行料1,830円(乗用車)
●TEL0172-83-2314
（岩木スカイライン）

世界一の桜並木　Bウ−2

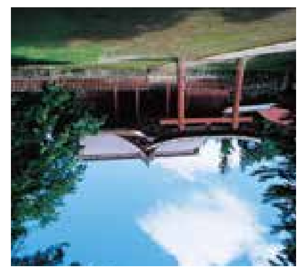
岩木山南麓、総延長約20kmにわたって6500本もの「オオヤマザクラ」が連なる世界一長い桜並木。緑の山に可憐なピンクが美しい風景です。

湯段ミズバショウ沼　Bイ−1

嶽温泉と湯段温泉の中間にある沼や湿地帯には清楚で白い花のミズバショウが群生しています。4月下旬〜5月上旬が見頃。

桜林公園　Bウ−3

弘前公園の桜から約10日後が咲き始め。岩木山麓の高原に囲まれたおいしい空気の中のお花見は、心も身体もリフレッシュさせてくれるはず。5月上旬が見頃。



高照神社　Bエ−3

（国指定重要文化財）

津軽家4代藩主 信政（のぶまさ）が神道の奥義を極め「高照霊社」の神号を授かり、5代藩主 信寿（のぶひさ）が建立。明治10年（1877）には初代藩主 為信（ためのぶ）も合祀されました。

●弘前市高岡字神馬野87
●開館時間／日中●休館日／なし
●拝観料／無料

高岡の森弘前藩歴史館　Bエ−3

弘前藩の歴史や文化を学べる展示施設で、高照神社に収蔵されていた武具類や絵馬など、藩の宝物を展示しています。

●見学時間／9:30〜16:30
●休館日／第3月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替え期間
●入館料／300円、高校・大学生150円、小・中学生100円（団体割引あり）
●弘前市高岡字獅子沢128-112
TEL0172-83-3110

岩木山周辺の温泉

岩木山周辺には10カ所もの源泉があり、硫黄泉、炭酸水素泉、塩化物泉など、さまざまな泉質を楽しむことができます。

嶽きみ（とうもろこし）

昼と夜の気温差が大きいことから甘くて旨いと人気の「嶽きみ」。8月下旬から10月上旬ごろまで道端の出店で販売されています。

竹・あけびづる細工

岩木山麓に自生する「根曲がり竹」や「あけびづる」を材料としてつくられた、天然の風合いが美しい工芸品です。

津軽の秀峰 岩木山

弘前の四季ごよみ

春　弘前さくらまつり

染井吉野をはじめ、シダレ桜、八重桜など、52品種約2,600本の桜が園内を染め上げる日本一のさくらまつりです。

通常会期
4月23日〜5月5日

まつり会期中弘前公園本丸、北の郭は7:00〜21:00まで有料
日没〜22:00
（弘前公園内夜間ライトアップ）

夏　弘前ねぷたまつり

約80台のねぷたが出陣、夏の夜空を彩ります。国の重要無形民俗文化財、「残したい"日本の音風景100選"」に認定されています。

8月1日〜8月7日

8月1日〜4日（夜間運行）
土手町コース 19:00〜
8月5日〜6日（夜間運行）
駅前コース　19:00〜
8月7日なぬか日（昼間運行）
土手町なぬか日コース 10:00〜
なぬかびおくり 17:00〜
（岩木川河川敷）

秋　弘前城菊と紅葉まつり

豪華絢爛なフラワーアートや、桜やもみじの紅葉が園内を色鮮やかに染め上げます。夜のライトアップも見所です。

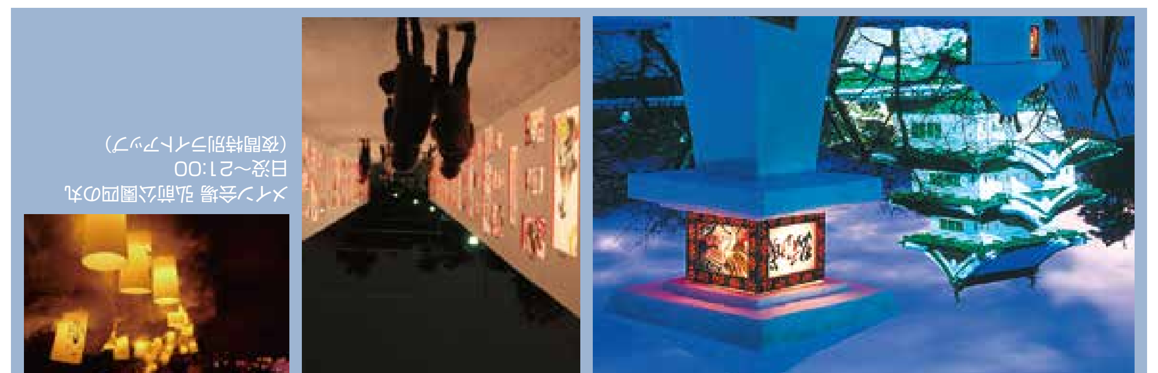
10月下旬〜11月上旬

会場　弘前城植物園（有料）
9:00〜20:00
（入場券の販売は19:30まで）
日没〜21:00
（弘前公園桜・紅葉特別ライトアップ）

冬　弘前城雪燈籠まつり

市民手づくりによる雪燈籠約150基や雪像、約300基のミニカマクラなどが冬の園内を幻想的に演出します。

2月中旬



メイン会場 弘前公園四の丸
日没〜21:00
（夜間特別ライトアップ）